



愛するサポーターのみなさま、長らくごぶさたして申し訳ありません。6月から怒濤のごとく押し寄せる数々の働きに忙殺されて、みなさまへのご報告がこんなに遅くなってしまいました。みなさまのお祈りと尊い経済支援のおかげで、今年前半も精一杯の種まきをすることができました。心より感謝申し上げます。

100名救われますように

6～7月は国際交流伝道を展開しました。総数120名の海外CCC学生たちが都内あちこちの大学に派遣されました。その結果、1200名の大学生に話しかけ、うち550名に個人伝道し、50名が明確にイエスさまを心に迎え入れました。東京CCCは、今年前半で、100名の大学生が救われるようにと祈ってきましたが、4月の新入生伝道、5月のサークルリーダー伝道、そしてこの国際交流伝道と続き、8月31日現在、計60名が救われました。この秋は、この学生たちの養育に力をいれていくこととなります。主の弟子たちが育まれてくるようにお祈り下さい。

サマーカンファレンス&ミッショントリップ

8月7～11日には、恒例のサマーカンファレンス（富士箱根）がありました。全国から200名が集まりました。どのプログラムにも聖霊の豊かなご臨在があって、涙を流す学生たちの多いことには驚かされました。学生たちが、仲間とともに主を賛美礼拝し、救われたばかりの学生たちまでが、伝道の訓練を受け出て行く・・・その単純な信仰、純粹さ、若さ、エネルギー。日本の将来を変えるカギはここにある！と、普段現場に出ることの少ない亜由美は改めて確信させられました。小田原、熱海に出て行つてのアウトリーチでは90名に個人伝道し15名が救われました。出て行けば、いつでもどこでも、人々は応答するのだという証しでした。最後の夜には「派遣式」がありました。カンファレンスのあと、中央アジア、スリランカ、モンゴル、ナルニア（ある共産国）、シドニー、京都、広島に遣わされる学生やスタッフたちの壮行式。今年は総数50名という、かつてない数のスタッフと学生が世界に出て行きました。200名のうちの50名がミッションに出て行ったのですからすごい献身度です。日本人学生たちが、国内はもちろん世界で働く弟子たちのムーブメントとなるのを見ることがCCCの願いです。



娘（左上）も個人伝道に参加！

感謝

6月末に一週間、3年ぶりに北海道の亜由美の実家に帰省しました。お天気にも恵まれ、娘のこども、いとこたちと楽しい時を過ごすことができました。知床に行った時は、野生のキタキツネが車から1メートルのところまで寄ってきたり、美しいシカも間近に見られて感動でした。2年前に主を信じた義理の姉（竹江聡子）が、毎日聖書を読み、みことばに飢え乾いている姿は励ましてでした。彼女の守りと成長のためにもお祈り下さい。亜由美は、娘の夏休みと長い梅雨で、身体がとてもきつかったのですが、みなさんの祈りのおかげで、教会で学びのグループを導いたり、サマーカンファレンスでトレーニングクラスを担当することができました。9月、娘は2ヶ月半の長い夏休みを終え元気に小学2年生にあがることができました。神さまの恵みであり、みなさまの祈りと尊い献金の犠牲のおかげです。ほんとうにありがとうございます。



知床のウトロ港にて

お祈りをお願いします

1. 亜由美の健康と心が守られるように：この秋の長雨、激しい気温の変化が亜由美の身体には大きなチャレンジです。これからものすごい量のホッカイロを使います。少しでも献品していただけたらとても助かります！
2. 娘の視力回復のために：娘のこは、とうとう眼鏡をかけることになりました。親としてとてもショックです。強度近視の苦しみと不便さは親である私たちがよく知っているからです。娘の視力が少しでも回復するように。
3. サポートのために：今年で私たち夫婦はCCCスタッフとして15年がすぎました。「聖霊によって歩むキリストの弟子たちが日本、そして世界に満ちるように！」と願ってここまでやってきました。これもひとえにサポーターのみなさまからの祈りと気遣い、経済支援のおかげです。心から感謝しています。このビジョンのために、ますます、私たち家族が、日本そして世界で滞りなく働いていけるように、祈りと経済でしっかり支えて下さる方々をさらに募集しています。ご紹介いただけたら幸いです。

あなたに心から感謝しつつ・・・

佐藤義孝・亜由美・ここ（お気軽にメールしてくださいね。）

〒359-0037 所沢市くすのき台3-16-7-305 TEL&FAX 04-2994-2832 yaksato@ybb.ne.jp